

海のゆりかご通信

第1号
2009.08

JF全漁連 漁政部 環境・生態系チーム

Tel 03(3294)9617 e-mail:gyosei-3@zengyoren.jf-net.ne.jp

はじめに・

二〇〇九年四月より水産庁事業「環境・生態系保全対策」がスタートしました。この事業は、近年、面積の減少や機能の低下が進行している藻場や干潟、サンゴ礁、ヨシ帯において漁業者や地域の人たちが行うその保全活動を交付金により支援するものです。

わが国の沿岸に形成される藻場や干潟、サンゴ礁、ヨシ帯は、水産資源を育む場所であり、その恩恵を受ける浜の人々にとっては、必要不可欠な存在です。また、水産物の安定供給、沿岸水域の水質浄化、憩いやレクリエーションの場の提供など、私たちもそこから多くの恵みを受けています。

JF全漁連では、環境・生態系保全対策を全国的、国民的な取組として推進・普及するため、国からの補助を受け「環境・生態系保全活動支援推進事業」を実施しています。この事業では、「藻場・干潟を守る活動が全国でどのように取組まれているか知りたい」、「藻場・干潟などを守る活動を検討・実行してみたい」、「各地の保全の取組について

応援したい」とお考えの皆さまにとって、ご活用いただける多くのメニューを用意していますので、是非ご利用下さい。

〈海のゆりかご通信の紹介〉

海のゆりかご通信では、保全対策事業のお知らせ情報を紹介していきますが、十月号からは、保全対策に取り組む活動組織取材し、現場の生の声を皆さまにお届けしますので、ご期待下さい。

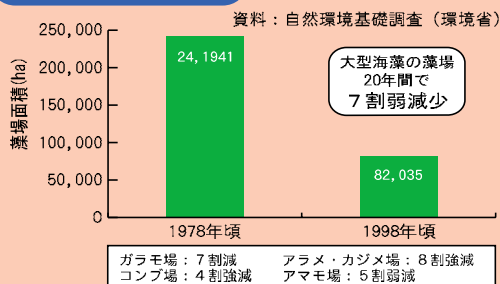
話題『ウニは藻場の天敵!?』

平成六年に発掘された青森県青森市の三内丸山遺跡は、縄文時代の紀元前三五〇〇年頃から紀元前二〇〇〇年頃まで続いた人口五〇〇人程度の集落跡です。この遺跡から、ウニの棘が発見されました。ウニは、日本人が狩猟・採取の時代から食してきた代表的な海産物なのです。現代では「高級」水産物のウニ：古代人のグルメな食卓を想像すると、ちょっとうらやましい気もします。

私たちにとって馴染みのあるウニ：実は、近年、もう一つの顔が知られるようになってきました。それは「磯焼け」で知られるように、ウニが海藻を食べ、藻場に大きな影響を及ぼす一面です。

平成一七年に水産庁が実施したアンケートでは、藻場の衰退が認められる三三都道府県のうち五割以上が「藻場の減少はウニの食害が一因している」と回答、さらに、

全国藻場面積の変遷



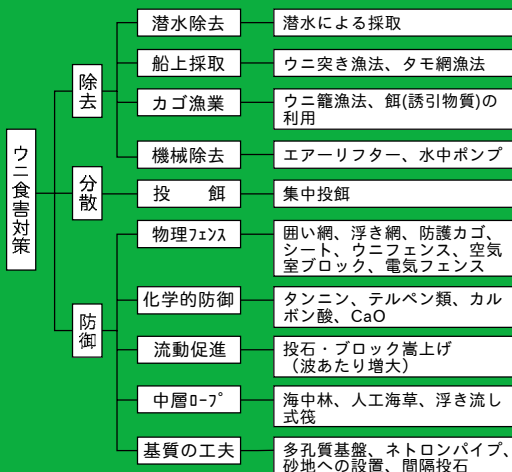
うち五県で「ウニの関与により一〇釐以上の藻場が衰退」と報告されています。

近年、わが国の藻場は、大きく衰退しています。環境省の調査によると、ガラモ場などの大型海藻で構成される藻場の面積は、二〇年間で七割弱減少しています。しかし、この藻場の減少の全てが、ウニによる食害の影響ではありません。

藻場の衰退は、ウニ以外にも、小型巻貝やアメフラシ、植食性魚類による食害の影響があります。また、海藻の生育に不可欠な光や海水流動、水質、海底基質、海水温、浮泥の堆積といった環境動向も、藻場にダメージを与える要因です。

藻場の再生に取り組むにあたっては、地域の実態を良く観察し、分析した上で、衰退した原因をある程度特定し、対策を図ることが大切です。ウニも大切な海洋生物の仲間、そして有用な水産資源であり、価値を持っている生物。もし、ウニの食害が原因であっても、「ウニが悪い」と考えるのでは

ウニの食害対策に関する技術手法



資料：「磯焼けを起こすウニ」藤田大介ら編著,2008)

なく、バランスを取り戻すため、必要に応じて人の手を加えるという発想が大切です。水産庁の「緊急磯焼け対策モデル事業」では、ウニ対策の手法が紹介されています。こうした手法を組み合わせて、ウニの食害対策に取り組んでいきましょう。

情報 『保全対策推進・普及メニューの紹介』

相談窓口の設置

藻場・干潟などの保全活動に参加する方々に向け、相談窓口を開設しました。活動の計画や実行の段階で生じる現場の様々な疑問の解決、また、ご希望によっては専門家を紹介することもできます。保全活動に参加・関係している方々、これから活動に参加しようとする方々など幅広くご利用できます。専門のスタッフが親切に対応いたしますので、是非お気軽にご利用下さい。皆様からのご連絡をお待ちしています。

環境・生態系保全活動サポート推進事業

相談窓口開設のお知らせ

JF全漁連では活動組織の皆様が環境・生態系保全活動を行っていく上での様々な技術的な問題等に関して、サポートを行う相談窓口を設置しました。常駐する専任相談員が各種の相談に対応いたします。活動組織をはじめ、地域協議会など本事業の関係の方々にも広くご利用いただくことが可能です。どうぞ、お気軽にお問い合わせ下さい。

(詳細案内) http://www.zengyoren.or.jp/env_support/index.html

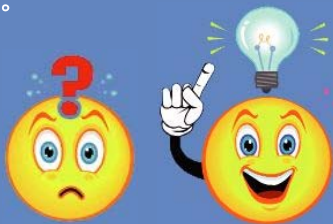
(問い合わせ) JF全漁連 漁政部 環境・生態系保全活動サポート窓口(櫻井)

- 電話 03-3294-9616 (直通)
- e-mail k-support@zengyoren.jf-net.ne.jp

■常駐の専任相談員ならびにJF全漁連が委嘱する専門的アドバイザーが、ご相談内容に応じた様々な技術情報を提供するとともに、活動組織からの要請に応じて、人材バンク登録の専門家の紹介を行うなど、活動組織の取組を幅広くサポートします。

■活動組織だけでなく地域協議会など本事業に関係する方々に幅広くご利用いただけます。

詳細内容は、全漁連ホームページの「環境・生態系保全活動サポート窓口からのお知らせ」を参照して下さい。



環境・生態系保全活動サポート推進事業
講習会のスケジュール

(問い合わせ)
JF全漁連 漁政部 環境・生態系保全活動サポート窓口
●電話 03-3294-9616 (直通)
●e-mail k-support@zengyoren.jf-net.ne.jp

開催スケジュール	開催期日	会場	開催場所	申込締切
開催決定	干潟	9/2~4	千葉 木更津市 盤州干潟 (江川海岸) ほか	8/20
	藻場	9/30~10/2	長崎 長崎市 三重漁港 (新三重漁協) ほか	9/24
	干潟	10/5~7	愛知 蒲郡市 竹島干潟・形原人工干潟 ほか	9/28
開催予定	干潟	10月中~下旬	大分 中津市 中津干潟 ほか	未定
	サンゴ礁	10月下旬	沖縄 恩納村 前兼漁港前面海域 ほか	未定
	藻場	11月上旬	青森 青森市・佐井村 佐井漁港 (佐井村漁協) ほか	未定
	藻場	11月上~中旬	静岡 御前崎市・牧之原市 相良漁港 (相良漁協) ほか	未定
	藻場	11月中~下旬	高知 黒潮町	未定
	ヨシ帯	未定	滋賀 彦根市	未定

技術をみかく・学ぶための講習会の開催

藻場、干潟、ヨシ帯、サンゴ礁で取組む保全活動の進め方や技術をみかく・学ぶための講習会を開催します。今年度は、藻場や干潟などの対象資源ごとに全国九箇所で開催する予定です。教室での座学や、開催地の特徴を生かした野外実習、

実験室での分析演習、意見交換会など多彩な講習プログラムを用意しておりますので、この機会には是非参加をご検討下さい。講習会についての詳しい情報は、JF全漁連ホームページの『環境・生態系保全活動サポート窓口』サイト、あるいはJF全漁連漁政部の環境・生態系保全活動サポート窓口までご連絡下さい。

地域の取り組みの紹介や

情報交換を行うホームページの開設

保全対策に参加する地域や地域の取り組みを紹介するホームページを九月下旬頃(八月中下旬に仮開設)に開設いたします。

このホームページでは、地域間の情報交換を行う掲示板、保全対策に参加する地域の藻場や干潟、サンゴ礁、ヨシ帯の紹介、そこで取り組まれる保全活動、またその空間で育まれる美味しい魚介類の紹介など、地域の魅力を様々な人に伝えるようなサイトにしたいと思っております。

ホームページは、保全対策に参加する方々と一緒に、なって創り上げていきたいと考えていますので、ご意見・ご要望がありましたら、是非、ご連絡下さい。(本ホームページ以外にも、保全対策の事業内容や技術的なサポートに関するホームページが水産庁やJF全漁連で既に開設されていますので、あわせてご参考下さい。)

水産庁『環境・生態系保全対策』サイト

http://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyozyo/sub391.html

保全対策の制度の概要(各種パンフレット)や通知(要綱・実施要領)、活動の手引きなどをダウンロードすることができる。

JF全漁連『環境・生態系保全活動サポート窓口』サイト

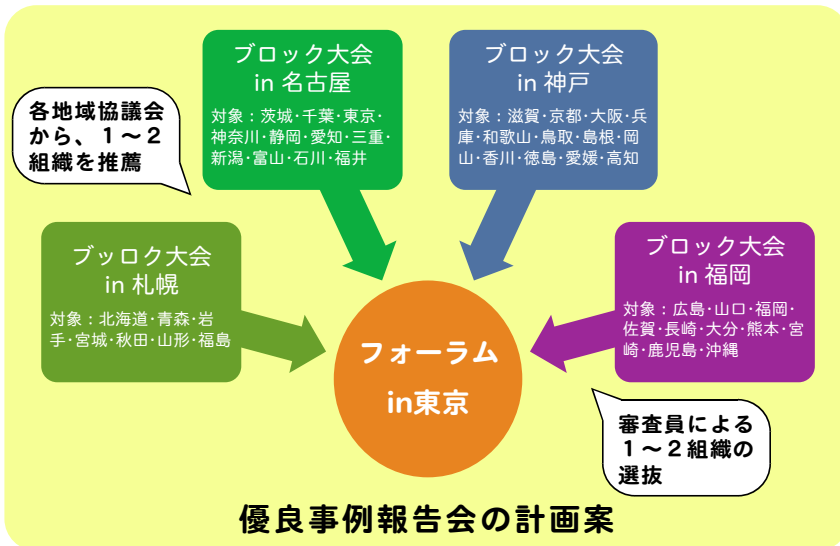
http://www.zengyoren.or.jp/env_support/index.html

全国各地の活動組織等の疑問や相談への対応など幅広いサポートに関する各種情報のお知らせを行うサイト。

優良事例発表会の開催

藻場や干潟、サンゴ礁、ヨシ帯等で実施された保全活動の事例報告会を、一二月～二月にかけて全国四ブロックで開催することとしました。

各ブロックで報告された事例のうち、特に優良な事例については、各ブロックの代表的な活動として、三月に東京で開催する「人と海との共生フォーラム（仮称）」で表彰される



「保全活動大賞（仮称）」にノミネートします。

「人と海との共生フォーラム（仮称）」では、事例の発表の他、各地の活動のパネル展示やポスター発表、ビデオ上映、海藻や干潟の生物等の水槽展示、海藻を使ったおしぼ教室などのブースを考慮しております。

それぞれの詳細な日程や場所、イベント内容については、秋頃に本誌で発表することとしておりますので、是非ご期待ください。

普及資料の作成・配布

「ビデオの企画・制作」

現在、藻場や干潟等の役割と現状、そして地域で取り組まれる保全活動を紹介するビデオを企画・制作しています。八月中旬には関係機関を通じての皆様へ配布することができると思いますので、是非、インフォメーションモニターや、イベントの際などに放映して頂けると幸いです。

「ポスター及びパンフレット、手帳の作成」

藻場や干潟等の重要性の啓蒙、また保全対策の活動の輪を広げるため、ポスター及びパンフレットを作成しています。また、活動への参加に当たって簡単な情報を盛り込んだ手帳を作成しています。これら普及資料については、十月をめどに関係機関を通じて皆様へ配布することができると思いますので、是非、ご利用下さい。

普及資料の配布については、保全対策に係わる関係者の方々

を対象にしています。

興味をお持ちの方は、JF全漁連の漁政部まで、お問い合わせ下さい。



Schedule 2009 (環境保全対策 J F 全漁連の取組内容及びスケジュール一覧)

講: 講習会 報: 報告会 誌: 情報誌 H: ホームページ公開 資: 普及資材配布

8月	上旬		誌	情報誌の発行(海のゆりかご通信)
	中旬		資	ビデオ配布
	下旬		H	情報交換等ホームページ(仮開設)
9月	上旬	講 9/2~4		干潟講習会(千葉県、申込締切8/20)
	中旬			
	下旬	講 9/30~10/2	H	藻場講習会(長崎県、申込締切9/24)
10月	上旬	10/5~7		干潟講習会(愛知県、申込締切9/28)
	中旬	10/中~下旬		干潟講習会(大分県、申込締切未定)
	下旬	10/下旬		サンゴ礁講習会(沖縄県、申込締切未定)
11月	上旬	11/上旬		藻場講習会(青森県、申込締切未定)
	中旬	11/上~中旬		藻場講習会(静岡県、申込締切未定)
	下旬	● 11/中~下旬		藻場講習会(高知県、申込締切未定)
12月	上旬	報		優良事例報告会(予定)
	中旬			(ブロック大会、in札幌・名古屋・神戸・福岡)
	下旬			
1月	上旬			
	中旬			
	下旬			
2月	上旬			
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	●		(人と海との共生フォーラム(仮称) in 東京)
	中旬			
	下旬			● ●

公募にて登録したサポート専門家を紹介します!

J F 全漁連では、藻場や干潟などの「保全活動」の全国の現場において、計画づくりや実地指導などにご協力いただけるサポート専門家を、現在、公募しているところです。9月以降には、活動組織の皆様にサポート専門家をご紹介しますので、お困りの際には、相談窓口にご連絡下さい。

お問い合わせ

J F 全漁連 漁政部 環境・生態系保全活動サポート窓口(櫻井)

TEL: 03(3294)9616(直通) e-mail: k-support@zengyoren.jf-net.ne.jp